

平成23年 4月28日

お 知 ら せ

件 名	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に関する災害情報（第12報）について
-----	--

お知らせ内容

北海道開発局では、平成23年3月11日（金）14時46分頃に発生した平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に関する災害情報（第12報：4月28日9時00分現在）を取りまとめましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

問	所	属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
合	北海道開発局	防災課	防災課長	高橋 渡	709-2311 内線5448
せ	北海道開発局	防災課	防災課長補佐	横田 康弘	709-2311 内線5944
先					

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震災害対応について

※これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。
 ※直轄被災の情報を主に掲載しています。

国土交通省北海道開発局は、平成23年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする地震（平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震）が発生したため、災害対策本部を設置しました。北海道開発局管内の対応状況は以下のとおりです。

1. 地震・津波の概要

発生時間 : 平成23年3月11日 14時46分頃
 震源地 : 三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東120km付近）
 震源の深さ : 約20km
 規模 : マグニチュード9.0
 最大震度 : 震度7 宮城県北部
 道内震度 : 震度4（石狩北部・南部、渡島東部・西部、檜山、空知南部、上川南部、胆振中東部、日高中部・東部、十勝北部・中部・南部、釧路中南部）
 大津波警報 : 11日15時30分 北海道太平洋沿岸西部、中部、東部
 津波警報 : 11日15時30分 北海道日本海沿岸南部
 津波注意報 : 11日15時30分 オホーツク海沿岸
 11日21時35分 北海道日本海沿岸北部
 13日17時58分 北海道内全て津波注意報が解除
 最大波 : （気象庁12日02時37分現在2m以上）えりも港3.5m、根室港花咲港区2.8m、十勝港2.8m以上、浦河港2.7m、霧多布港2.6m、苫小牧東港2.5m以上、函館港2.4m、釧路港2.1m、苫小牧西港2.1m)

2. 北海道開発局の体制について

北海道開発局は、3月11日15時30分に、災害対策本部を設置し、函館、室蘭、帯広、釧路、札幌、旭川の各開発建設部においても、以下のとおり災害対策本部等を設置しました。

現在、本局及び開発建設部（函館、室蘭、帯広、釧路、札幌、旭川、小樽、網走、稚内、萌）の災害対策本部等では、東北地方整備局と連携の上、被災地への応援を実施しています。

北海道開発局	3月11日	15時30分	災害対策本部設置
函館開発建設部	3月11日	15時30分	災害対策本部設置
室蘭開発建設部	3月11日	15時30分	災害対策本部設置
帯広開発建設部	3月11日	15時30分	災害対策本部設置
釧路開発建設部	3月11日	15時30分	災害対策本部設置
札幌開発建設部	3月12日	6時30分	応援対策本部設置
旭川開発建設部	3月18日	18時00分	応援対策本部設置
小樽開発建設部	3月25日	8時30分	応援対策本部設置
網走開発建設部	4月15日	9時00分	応援対策本部設置
稚内開発建設部	4月21日	8時30分	応援対策本部設置
留萌開発建設部	4月21日	9時00分	応援対策本部設置

3. 所管施設等の状況

○国道

3月11日15時30分津波による浸水が想定される14路線32区間(延長約810km)において通行止めを実施。12日13時50分、大津波警報解除に伴い規制区間を縮小し、津波警報解除後に施設に異常が無い区間から通行止めを順次解除し、13日12時00分に全ての通行止めを解除。パトロールによる施設点検の結果、国道38号幣舞橋及び国道44号旭アンダーパスにおいて確認された電気施設及び排水ポンプの損傷は応急措置を講じており、現在、通行には支障なし。

○河川等

(河川)

- ・太平洋沿岸8河川40樋門のうち26樋門の閉扉を実施。
- ・点検対象河川(33河川)の全てにおいて津波遡上区間外から目視による点検を開始。
- ・津波遡上区間については注意報解除後に点検に着手。(※)
- ・3月13日19時31分 開扉操作終了。
- ・3月14日10時56分に全河川の点検終了。異常なし。

参考	(※)【津波痕跡による遡上距離及び流木・漂流物の有無】	
	・十勝川	河口から約13.2km上流まで遡上を確認 漂流物無し
	・浦幌十勝川	河口から約4.5km上流まで遡上を確認 漂流物無し
	・新釧路川	河口から約11.0km上流まで遡上を確認 漂流物無し
	・鶴川	河口から約5.0km上流まで遡上を確認 漂流物無し
	・沙流川	河口から約3.9km上流まで遡上を確認 漂流物無し

(ダム)

点検対象ダム(忠別ダム等15ダム)の全てにおいて点検を開始し、3月11日16時55分に点検終了。異常なし。

(砂防)

対象施設(3施設:豊平川、十勝川、樽前山)の全てにおいて3月12日15時00分に点検終了。異常なし。

(海岸)

対象海岸(1海岸:胆振海岸)において3月14日10時20分、点検終了。異常なし。

○港湾

- ・点検対象港湾(35港湾)において、津波警報解除後に陸上点検を6港湾で開始。釧路港、根室港、霧多布港で被災確認。3月16日11時30分、十勝港の海上点検終了をもって全港湾の点検完了。
- ・津波注意報解除後に、35港湾で、陸上・海上点検が終了し、点検中10港湾において施設被害が確認されたが、港湾活動に影響なし。

港湾施設の被害状況

港湾名	港格	地区名	被害状況
苫小牧港 (苫小牧港管理組合)	特重		検潮所(観測機器損壊)
		西港区	勇払マリナー被災
函館港 (函館市)	重要		防波堤(東)港内側消波工一部沈下
			ともえ大橋基部、一部洗掘・縁石破損
			ガードレール破損
			緑の島基部、マリナー破損
		若松道路護岸にフェンス破損	

釧路港 (釧路市)	重要	西港区	第4埠頭23号岸壁、防舷材・縁金物破損
			仮置きケーソン一部破損
		東港区	第3ふ頭フェンス損傷
			第4ふ頭フェンスゲート損傷
十勝港 (広尾町)	重要	外港地区	船揚場袖護岸背後のアスファルト舗装、 路盤が越流により洗掘
			物揚場 (-2.0m) 背後の道路が越流により洗掘
		南地区	岸壁(-5.5m) エプロン背後のアスファルト舗 装、路盤も洗掘。
			エプロン直下も洗掘
			浸水によりカメラ故障
		本港地区	航路(-13m)、航路(-14m) 一部埋没
	検潮所 (観測機器損壊)		
根室港 (根室市)	重要	花咲地区	防潮堤破損
			上屋(壁、シャッター) 損傷
			船揚場張コンクリート破損
			浸水によりカメラ、監視機器及び照明装置故 障
霧多布港 (浜中町)	地方	本港地区	港内に漂流物(漁船等) 流入
			北防波堤ブロック移動
			護岸洗掘
			中防波堤本土工滑動
		琵琶瀬地区	小型船溜矢板全壊
			波除堤(5m程度) 変位
			防潮堤の一部決壊
			東防波堤消波ブロック移動
			西防波堤被覆ブロック移動
			道路路盤吸い出し
	護岸が転倒		
えりも港 (えりも町)	地方	本港地区	海岸擁壁が転倒
			北間内物揚場エプロン及び背後用地沈下
			第1船揚場照明柱の転倒
浦河港 (浦河町)	地方	本港地区	第7物揚場(-2.5m) 縁金物の脱落
			第5物揚場(-2.5m) エプロン段差
			検潮所 (観測機器損壊)
白老港 (白老町)	地方	本港地区	第3商港区防砂シートの破損
森港 (森町)	地方		工事中の港湾施設用地に津波による洗掘あり

○空港

所管空港(新千歳空港、函館空港、釧路空港、丘珠空港)において3月11日17時35分、点検終了。被害なし。

○漁港

- ・ 3月13日17時58分、津波注意報解除後、点検を開始。
- ・ 点検対象漁港（38漁港）において、3月16日までに37漁港点検完了、17日14時30分、厚岸漁港の海上点検終了をもって全漁港で点検完了。
- ・ 岸壁舗装の被害等、施設被害のある漁港が6漁港あるが、漁港活動に影響なし。

漁港施設の被害状況

漁港名	被害状況
登別 (登別市・白老町)	-3.0m泊地が埋没
様似 (様似町)	-3.5m岸壁の照明施設等が浸水
庶野 (えりも町)	リフト式船揚場の駆動装置が浸水
厚岸 (厚岸町)	-5.0m泊地が埋没
落石 (根室市)	-2.5m物揚場のエプロン舗装に段差
大津 (豊頃町)	-3.5m岸壁の防風施設が破損、道路等の路盤が流出

○農業

3月13日12時20分、点検対象ダム（8ダム）の全ダムにおいて点検終了。異常なし。

4. 道内における災害対策用機械出動状況

- ・ 冠水被害のあった国道44号旭アンダーパス（釧路開発建設部管内）で照明車及び排水ポンプ車が出動し3月13日4時10分作業終了。
- ・ 浦河港湾事務所（室蘭開発建設部管内）の代替え施設として対策本部車が出動し3月13日9時20分作業終了。

5. 東北地方への職員及び災害対策機械派遣状況

- ・ 東北地方は、通信回線が途絶していることから衛星通信による通信手段を確保するため、TEC-FORCE（電気通信班）1班（衛星通信車1台、Ku-SAT 1台、運転技術員4名）を宮城県東松島市に派遣。22日から岩手県下閉伊郡田野畑村にKu-SATを設置。東松島市役所における支援は通信回線が確保されたことにより3月28日で終了。3月29日からは山形・岩手県内の通信・電気施設関係の点検活動を開始。
- ・ 先遣班として被災地の状況把握に努めるほか、北上川下流において河川の樋門、樋管、水門の被災状況を調査するために、被災状況調査班5班（19名、内運転技術員3名）を、北上川下流河川事務所に派遣し、26日に調査を終了し、28日に帰還。
- ・ TEC-FORCE隊員の活動支援として、仙台河川国道事務所（仙台西国道維持出張所）に、災害対策本部車1台、23日から岩手県上閉伊郡大槌町に待機支援車1台を派遣中。
- ・ 3月24日16時40分、1班（4名）が広域防災フロートの稼働支援として岩手県大船渡港で活動開始。（待機支援車、災害対策本部車、照明車 2台）
3月29日7時07分、広域防災フロートが福島県相馬港に着岸し、支援活動開始。
4月5日15時00分、作業支援が完了。

- ・ 4月11日、排水作業支援のため排水ポンプ車4台（札幌・室蘭・旭川・帯広）応急対策班3名を派遣。
4月16日より東松島市で排水作業開始。現在も継続中。
- ・ 4月17日、防災ヘリコプター「ほっかい」を体制強化のため派遣
- ・ 水産庁の要請により3月26日より東北地方の漁港の被災状況調査のため職員を派遣中。
これまでに6名を派遣し、現在も継続中。
- ・ 東北地方整備局に職員2名を復旧計画作成のため長期の派遣を実施中。

	H23. 4. 28現在	H23. 3. 14～H23. 4. 28
職員の派遣人数（実人数）	7 人	88 人
派遣車両等台数	11 台	35 台

6. リエゾン派遣状況

現在は、道内自治体への派遣なし。

なお、これまで北海道庁本庁に1名、大津波警報発表された渡島、胆振、日高、十勝、釧路、根室振興局管内における、5振興局、24市町に派遣した。

7. その他

【災害対策用ヘリコプター出動状況（代替機）】

日時	離着陸状況		調査箇所
	離陸箇所	着陸箇所	
3/11 16:20 発	丘珠空港	丘珠空港	苫小牧～浦河沿岸
18:36 着			
3/12 07:15 発	丘珠空港	釧路空港	浦河沿岸～根室沿岸
10:00 着			
3/12 10:50 発	釧路空港	帯広空港	根室沿岸～釧路沿岸
13:38 着			
3/12 16:00 発	帯広空港	丘珠空港	帯広～丘珠
17:00 着			

北海道開発局所管施設の被災概要

【道路】

国道14路線32区間約L=810kmで通行止め実施
 R44釧路市旭町アンダーパス冠水、電気設備浸水
 R38釧路市幣舞橋電気室浸水

【港湾】

点検を実施した35港のうち10港で被害

【漁港】

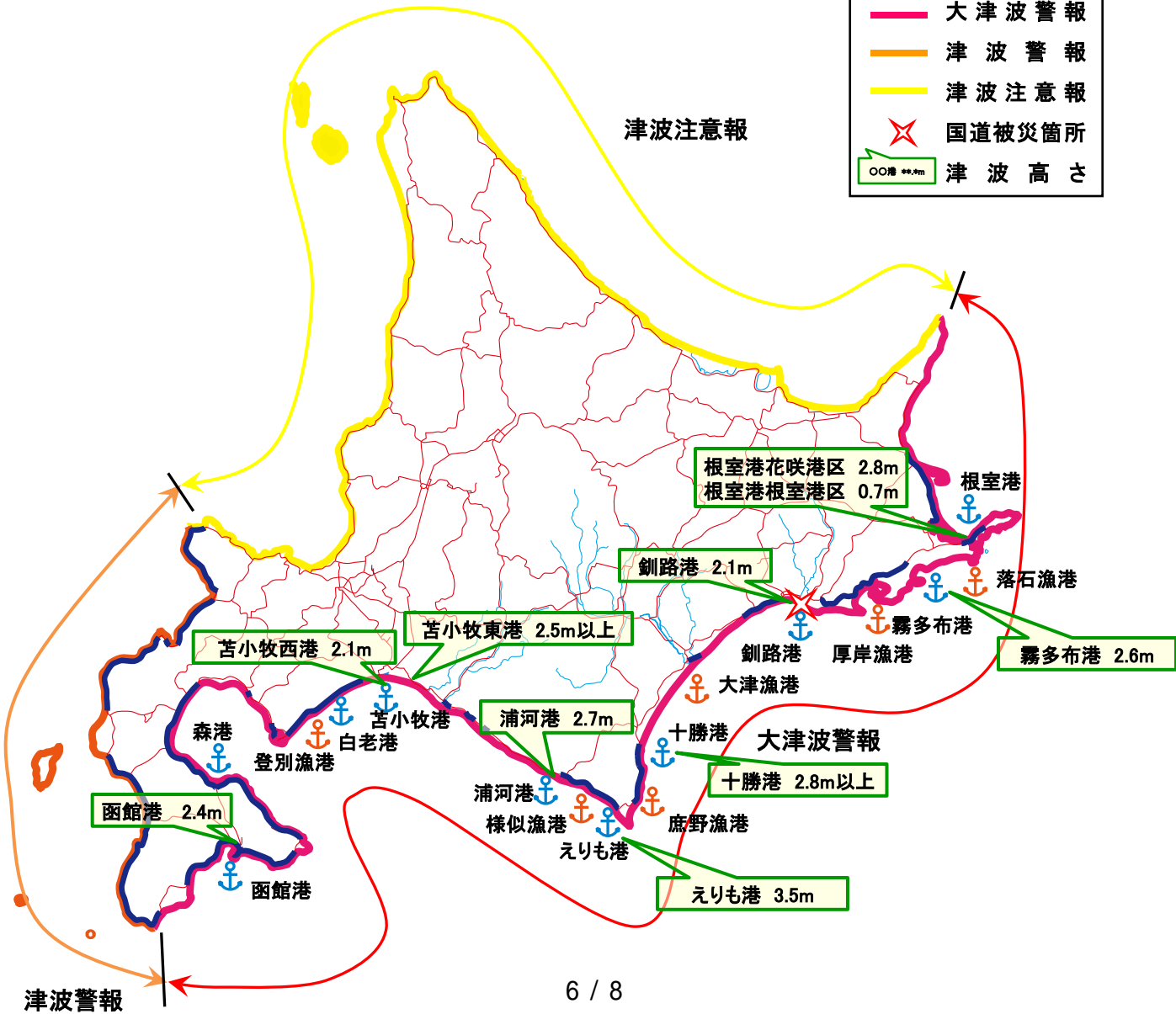
点検を実施した38漁港のうち6漁港で被害

【河川・海岸・砂防・農業・ダム・空港】

被害無し

凡例

	国道通行止め実施区間
	被災港湾
	被災漁港
	大津波警報
	津波警報
	津波注意報
	国道被災箇所
	津波高さ



所管施設施設被災状況



一般国道44号 釧路市
旭アンダーパス(冠水状況)



霧多布港(矢板護岸工の被災状況)



十勝港(津波による漁船の被害状況)



釧路港
(西港区第4埠頭岸壁上部コンクリート欠損)



落石漁港(護岸上部工の被災状況)



庶野漁港(消波ブロック散乱状況)

東北地方への 職員及び災害対策機械派遣状況

情報通信班



【岩手県田野畑村】
Ku-SATによる電話回線確保



【宮城県東松島市】
衛星通信車による電話回線確保

被災状況調査班（河川班）



【宮城県吉田川】樋門点検



【宮城県吉田川】堤防点検

応急対策班（防災フロート）



【福島県相馬市】支援物資荷揚げ作業

応急対策班（排水ポンプ車）



【宮城県東松島市】
津波浸水箇所の排水作業